

評価結果提出届（兼受理書）

（小規模多機能型居宅介護）

健康福祉局介護事業指導課 あて

（太枠内のみ記入してください。）

提出日：令和6年 3月 11日

届出者	サービス種別 （該当に○）	○	小規模多機能型居宅介護					○	介護予防小規模多機能型居宅介護				
	事業所番号	1	4	9	1	0	0	0	2	8	5		
	事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 こすずめの里											
	事業所所在地	（〒 245-0063 ） 横浜市戸塚区原宿 2-6-7											
	担当者名	管理者 大嶋 芽美											
	連絡先	電話	045-858-3322					FAX	045-858-3322				

次のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議開催日			令和6年 2月 28日
添付書類 （チェック欄にレ）	チェック欄	✓	事業所自己評価
		✓	サービス評価総括表
		✓	返信用封筒（84円切手を貼った返信先明記の長3封筒）

（以下は記入しないでください。）

評価結果提出届を受理しました。

受理日	6年 3月 14日	実施年度	5年度
次回実施期限	7年 3月 31日		

＜次回の外部評価実施後、運営推進会議を開催した日から1か月以内に提出をしてください。＞

＜この受理書は再発行しません。＞

【発行】 横浜市健康福祉局介護事業指導課 電話 045-671-3466 FAX045-550-3615

受付担当者：



横浜市収受印



令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表									
法人名	有限会社 リヲ福祉サービス	代表者	代表取締役 馬場 世津	法人・事業所の 特徴		住み慣れた地域での生活が継続できるよう、通いサービス・宿泊サービス・訪問サービスを柔軟に組み合わせ総合的なサービスの提供に努めています。また、放課後デイサービスの子ども達との交流会や獅子舞等のイベントを定期的に開催し、地域住民との交流を図り地域での暮らしを支援しています。			
事業所名 (戸塚区)	小規模多機能型居宅介護事業所 こすずめの里	管理者	大嶋 芽美						
出席者数	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・ 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援 センター	近隣事業所	事業所職員	その他
		2人	4人	1人	1人	1人		2人	1人
項 目				前回の改善計画			意見		
				前回改善計画に対する取り組み・結果 コミュニケーションを密にすることで職場雰囲気や和み、それが利用者にとっても良い環境に繋がった。			職種の壁を取り払い、意見が言える環境作りに取り組んでいることがわかった。コミュニケーションを、重視してほしい。		
A. 事業所自己評価の確認				コミュニケーションを密にすることで職場雰囲気や和み、それが利用者にとっても良い環境に繋がった。			職種の壁を取り払い、意見が言える環境作りに取り組んでいることがわかった。コミュニケーションを、重視してほしい。		
B. 事業所のしつらえ・環境				新型コロナウイルス感染防止策を継続しながら、心地良い空間作りに努める。			スタッフが気にかけてくれ、話をするのが楽しく居心地が良い。感染予防のジレンマはあると思うが、季節を感じられる空間作りをお願いしたい。		
C. 事業所と地域のかかわり				新型コロナウイルス感染防止策を継続しながら、地域住民との交流をサポートしていく。			事業所は、地元でも存在感があり協力されていく風通しが良い。元気な挨拶で、"明るく元気"が事業所の良いところ。また、コロナ感染リスクを考えると、地域との交流を100%元に戻すには、まだ慎重にならざるを得ないと思う。		
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み				新型コロナウイルスの感染状況をみながら、地域イベントへ参加する。			地域イベントはコロナ前に戻りつつあるが、マスク着用が減った今、介護事業所が参加するのは厳しくて当然だと思う。気分転換の、散歩や公園散策は多いに行ってほしい。		
E. 運営推進会議を活かした取り組み				新型コロナウイルスの状況をみながら、書面会議や対面会議を柔軟に行い、地域との連携を深める。			運営推進会議を開催していて、地域からの声を大事にしていると思う。コロナが存在する環境が続く、地域の関わり方も徐々に変化しているように思う。		
F. 事業所の防災・災害対策				新型コロナウイルスの状況をみながら、いざという時に自然と体が動くよう防災訓練を柔軟に継続していく。			消防署指導による訓練を行って安心してできる。また、定期点検・備蓄等もしっかり行っていて良い。訓練を繰り返し行うことで、いざという時対応できるため継続してほしい。		
							今回の改善計画		
							コミュニケーションを密に、職種間の連携に努める。		
							掲示物等で工夫し、季節感ある空間作りに努める。		
							明るく元気なあいさつで、地域の方々と日々の交流を図る。		
							新型コロナウイルスの感染状況をみながら、地域イベントへ参加する。		
							運営推進会議で情報交換を行い、地域との連携を充実させる。		
							地域の方々を交えた、防災訓練を行う。		

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年1月 22～24日 (13:00～14:30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー (氏名)	常勤3名 非常勤18名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	13人	8人	1人	1人	23人

前回の改善計画
・まず必要とされる支援がスムーズに提供できるよう、声掛けのタイミングを工夫する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・入浴拒否がある場合は、自宅とできる限り同じタイミングで声を掛け、まず必要な入浴支援に繋げることができた。 ・内服忘れが多く（本人：内服できている認識）早急に体調面での安定が必要とされる場合に、内服支援で訪問していることを感じさせないようさりげなく声を掛けスムーズに毎日内服することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	17人	5人		1人	23人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	17人	5人		1人	23人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	12人	9人	1人	1人	23人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	12人	9人	1人	1人	23人

できている点
・何が困っているのかを見極めるには、会話の中から知ることが多い。最初の入りは会話に重きをおいている。 ・情報共有ノートで、支援に入る前に毎日情報収集することができた。 ・夜間帯において、その時の困りごとにすぐに気付き対応できるよう通常より巡視回数を増やし対応した。 ・通いサービスを徐々に時間延長したことで、本人のタイミングで慣れることができ関係性もスムーズに築けた。

できていない点
・家族が急遽入院し情報がほぼなく、認知症で聞き取り困難であると困りごとやニーズの把握に時間がかかり、情報共有が遅くなる。 ・急な新規だと、個別対応できる職員配置が難しく、十分なケアができず不安を軽減できなかった。 ・情報収集した際に間違ってしまう、本人とは関係のない話題を提供してしまった。

次回までの具体的な改善計画
・本人の困りごとやニーズをケアの中から更に探り、早期情報共有に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年1月 22～24日 (13:00～14:30)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー (氏名)	常勤3名 非常勤18名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	14人	8人		1人	23人

前回の改善計画	・介護拒否となる原因を探り、本人が心地良いと思う環境作りに努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・通いサービスに拒否があり、席位置を変え食器拭き等を行ってもらった。役割を持つことで、本人が快適に過ごせるようになった。 ・宿泊サービスで不眠がみられ、結果的にベッドから布団に変更することで就寝できるようになったが、真のニーズ（本人上手く伝えられない）に気付くのが遅れ布団に至るまで期日がかかった。（足取り不安定で、”ベッド利用”との先入観があった）

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	15人	6人	1人	1人	23人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	15人	5人	2人	1人	23人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	13人	7人	2人	1人	23人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	11人	12人			23人

できている点	・介護疲れで入所を考えたが、家族レスパイト目的で宿泊サービスを開始したことで、本人希望の在宅生活が続けられた。 ・ミーティングだけではなく現場での声を日常的に挙げ、本人の希望に即時的に支援できるよう努めた。 ・訪看、往診、宅配弁当、ゴミ収集等を利用し、本人が望む在宅での暮らしを尊重している。 ・意志を伝えられない方の表情や態度等から汲み取り、排泄介助のタイミングを事前に知ることができている。
--------	--

できていない点	・できること（更衣・歯磨き等）でもスタッフへ依存し自力で行おうとせず、その気にさせるのが難しい。 ・上手く伝えられない人の真のニーズ（布団での就寝）に気付くのが遅れ、ベッドではなく布団での宿泊に至るまでに期日がかかった。（足取り悪く転倒リスクが高く、ベッド利用との先入観があった） ・勤務浅く、目標の把握はまだできていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・先入観を持たずケアにあたり、上手く伝えられない人のサインに留意し”真のニーズ”を探る。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年1月 22～24日 (13:00～14:30)
3. 日常生活の支援	メンバー (氏名)	常勤3名 非常勤18名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	12人	9人	2人		23人

前回の改善計画	・いつもと違う変化に早く気づけるよう、普段の様子を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・“いつもと違う”のはどんな場面か？意識して取り組んだことで、普段の様子を観察する力が全体的にUPした。 ・情報共有するなかで、スタッフにより捉え方に違いが見られ今後の課題とする。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	16人	5人	1人	1人	23人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排泄等等的基礎的な介護ができていますか？	16人	6人	1人		23人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	17人	5人	1人		23人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	14人	8人	1人		23人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	16人	5人	2人		23人

できている点	・訪問先の体調不調時に、その場で緊急受診や緊急搬送を柔軟に行った。 ・今までの暮らしを、事前情報だけではなく会話の中からより詳しく知るよう努め、日常生活のケアに繋げている。 ・自立を妨げないよう、本人ができることは自分で行ってもらい、行き過ぎた支援にならないよう努めた（排泄・更衣等）。 ・上手く伝えられない人の訴えを、スタッフ全体で考えている（いつトイレに行きたいか？どうしたら居心地よく過ごせるか？）。
--------	--

できていない点	・体調変化のような解りやすく見えるものがなく、気持ちの変化に気づくのが遅れた。 ・スタッフ間で、正しく伝わっていると思って上手く伝わっておらず捉え方に違いがあった。 (伝えたかどうかではなく、伝わったかどうか！)
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・正しく情報を共有するために、「伝わったかどうか？」の確認を行い、伝わるコミュニケーションを目指す。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年1月 22～24日 (13:00～14:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー (氏名)	常勤3名 非常勤18名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	18人	2人	1人	23人

前回の改善計画	・コロナ禍の状況を見ながら、地域と関わる機会を増やしていく。
前回の改善計画に対する取り組み結果	・コロナ5類となり、原宿獅子保存会による”獅子舞”が開催でき、地域住民との交流が図れた。 ・敬老の日には、放課後デイサービスの子供達が来てくれ、制限ある中での交流を持つことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	17人	5人	1人		23人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	15人	7人	1人		23人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	8人	14人	1人		23人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	15人	6人	1人	1人	23人

できている点	・急遽サービスが必要となった際に、本人からの聞取りが困難であったが、近隣住民が集まってくれ本人を知ることができた。 ・社会福祉協議会のボランティアへ庭の枯葉掃除を依頼し、地域資源を活用した。 ・馴染みの美容院やスーパー等へ行けるよう、送迎等を行い社会と関われるよう取り組んでいる。 ・宿泊中でも、家族や友人や親戚等と関係性が途切れないよう面会を禁止にせず対応している。
--------	---

できていない点	・コロナ以降、不安もあり人との接触を遠慮するため、他者との関りを持てる支援が難しいケースもある。 ・事業所でのイベントは再開できたが、大勢の人が集まる地域でのイベントへの参加は様々な面から厳しかった。 ・後見人制度が必要であっても、慎重にならざるを得ないため不足部分を補うのに時間を要しすぐの支援に繋がりにくい。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・後見人制度がスムーズに利用できるよう、他職種との連携を密にし必要な支援に繋げていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年1月 22～24日 (13:00～14:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー (氏名)	常勤3名 非常勤18名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	13人	8人	2人		23人

前回の改善計画	意識的に良い面に目を向け、良いことの気づきを増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	良いことの変化に気付けるように意識して取り組んだことで、多くを発見でき支援の幅が広がった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	20人	3人			23人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	19人	3人	1人		23人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	12人	9人	2人		23人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	11人	8人	4人		23人

できている点	- 研修や日々の記録で情報共有に努めている。また、訪ゴミd歳配食弁当訪看往診等を利用し在宅が続けられている - 訪看や往診や主治医等と連携しながら緊急搬送をその場で行い即時定期的な支援体制が整っている。 - コロナに感染された時には、デイから訪問に切替え毎日入り日常生活に使用が出ないよう柔軟に対応した。 - ニーズによって予定に入っていないなくても、夜中からの緊急宿泊を受け入れたり、デイから急遽訪問に切替えたり、デイサービス
--------	---

できていない点	- 一方だけが解る記述だったため、正しく情報が伝わっていないことがあった。 - 必要な支援でも認知症により状況理解難しく、本人気が乗らない場合は通いサービスに連れてくるのが難しかった。 - 本人できることであっても、訴え強く行き過ぎたケアになることがある。気分を変え、“やる気”を引出すのが難しい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	コミュニケーションを密にして、本人の“やる気”を引出すポイントを探り自立を支援する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年1月 22～24日 (13:00～14:30)
6. 連携・協働	メンバー (氏名)	常勤3名 非常勤18名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	5人	15人	1人	23人

前回の改善計画	コロナ状況をみながら、地域活動やイベントへ参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	- コロナ5類となりマスク着用率が減った。それにより、感染リスクが高まり参加がより難しくなった。 - 自事業所での開催であればマスク着用をお願いできるが、地域行事への参加となるとそうではなく厳しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	21人	2人			23人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	21人	2人			23人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3人	4人	13人	3人	23人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1人	2人	4人	16人	23人

できている点	- 緊急時に、誰でもすぐ対応できるよう個別緊急ファイルを常備し、日頃から他職種との連携を心掛けている。 - 協力医療機関と連携し、コロナウイルスやインフルエンザのワクチン接種を事業所にて行った。 - 本人の在宅生活を支えられるよう、主治医や福祉用具等との連携・協働に努めている。 - ケアマネージャーが、他職種を交えた担当者会議を開催している。
--------	---

できていない点	- コロナ以降、不要な訪問は避ける傾向が続いているため、用事がない限り一般の方の出入りはほぼない。 - 事業所開催の行事はマスク着用をお願いできるが、地域開催となると難しく参加できなかった（次年度こそ参加したい！） - コロナ5類となり、全体的にマスク着用が減少した。感染リスクや重症化リスクを考慮すると地域行事への参加は厳しかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	コロナ状況をみながら、地域活動やイベントへ参加する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年1月 22～24日（13：00～14：30）
7. 運営	メンバー (氏名)	常勤3名 非常勤18名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	15人	6人	2人		23人

前回の改善計画	・意見を言うよう、各々が意識して業務にあたる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・介護職と連携する上でも、看護師視点で意見や助言をすることは大切だと理解している。コミュニケーションに心掛けた。 ・意見を言うよう意識したことで、様々なケア方法を共有することができ個々のスキルアップに繋がった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	17人	4人	2人		23人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	11人	10人	2人		23人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	10人	12人	1人		23人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1人	11人	9人	2人	23人

できている点	・運営推進会議を2カ月に1回開催し、地域からの助言等をサービスの質の向上に繋げている。 ・苦情は真摯に受け止め、即座の対応に努めた。苦情から学ぶことで、コミュニケーションも深まりケアの質も向上した。 ・利用者や家族の声を聴き、意識的に声を挙げた。対応検討し実践することで、働きやすい職場環境作りに繋がった。 ・リーダーを中心に現場がまとまり、疑問や質問は遠慮せず聞ける職場環境にある。
--------	---

できていない点	・気づき方の違いにより、意見の量に偏りがある（意見言えないのではなく、ベテランが先に気付く）気づきを増やしたい！ ・コロナ5類となっても介護施設の関わり方はほぼ変わらないため、地域と協働した取組みは難しかった。 ・勤務浅く質問の方が多く、意見を言うまでに至らない。 ・先入観から、苦情になることではないと思っていても苦情になることがあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・コミュニケーションを密にして、気づきを増やしサービスの質の向上を目指す。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年1月 22～24日 (13:00～14:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー (氏名)	常勤3名 非常勤18名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	8人	14人	1人		23人

前回の改善計画	・リスクと自立支援のバランスを正しく把握し、リスクマネジメントに取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	・リスク重視しすぎると、結果的に在宅継続が難しくなる。リスク軽視しすぎず、筋力維持向上でリスクマネジメントに取り組んだ。 ・宿泊サービスで、転倒リスクあるも自力で立上れるよう自宅と同じ環境で就寝対応した。筋力維持でき生活リズム崩れることなく、バランスの重要性を実感した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか？	23人				23人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか？	22人	1人			23人
③	地域連絡会に参加していますか？	18人	4人	1人		23人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか？	10人	12人	1人		23人

できている点	・外部研修にオンラインで参加した。研修議題も自己選択でき、個々のスキルアップに繋がった。 ・ケアマネが事業所の代表として、ケアマネットや地域ケアプラザでの会議に参加した。 ・事例を通して学び、危険予測できることが増えた。 ・研修で知らないことを学べる以外に、弱い部分を再確認できた。
--------	--

できていない点	・コロナ以降休止となっていて、小規模多機能連絡会に参加していない。 ・オンライン研修は、質疑応答ができず解釈に違いがでることもあるのでは？と思う。 ・危険と思う範囲が違い、ヒヤリハットに気付かなかった（他者の意見で、気づくことができた） ・リスクマネジメントに取り組んでいたが、事故時に焦ってしまい対処が遅れた（対応スキル身に着きたい）
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・事故時や感染症発生時に落ち着いて対応できるよう、シュミレーション訓練でスキルを身に付けていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年1月 22～24日 (13:00～14:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー (氏名)	常勤3名 非常勤18名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	21人	2人			23人

前回の改善計画	虐待防止委員会を立ち上げ、更なる虐待防止に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	- 虐待防止委員会を立ち上げ、計画通りに開催できた。 - 日常的な言動でなくとも、(ティッシュを口に含んでいた→スピーチロックで静止)、声掛けが拘束に繋がる可能性があるという具体的に話合うことができた。それにより、日々の言動の重要性を再確認できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	23人				23人
②	虐待は行われていない	22人	1人			23人
③	プライバシーが守られている	11人	9人	3人		23人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	13人	9人	1人		23人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	16人	7人			23人

できている点	- 意識的、無意識的の区別ではなく、虐待は人権侵害で法律違反であると理解している。通報手順や通報先も再確認できた。 - 訪問先で、悪質訪問販売の形跡が見られるようになった際に、ケアマネへ報告し後見人制度の利用にスムーズに繋がった。 - 虐待の自己点検を行い自身を振り返り、正しい認識でケアにあたった。
--------	--

できていない点	- ティッシュを口に入れようとして、「ダメ」と咄嗟に静止したことがあった(スピーチロック)。 - 緊急時等のプライバシーは、状況により優先順位が違い難しい場合があった。 - 利用者への声掛けの音量のまま大きな声で職員同士で話してしまい、プライバシーの配慮に欠けた。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	咄嗟の声掛けがスピーチロックにならないよう、日々の言動に留意する。
---------------	---